



～季節の花便り～

里山の初夏の花風景

～アサザが見頃を迎えています～



花の水辺区の水面を彩るアサザ群落（平成二十八年六月八日）

謹啓 短夜の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

国営越後丘陵公園の里山フィールドミュージアムの、初夏を彩る花“アサザ”が花の水辺区、山の水辺区で見頃を迎えています。

- 花の水辺区、山の水辺区のアサザは池全面を覆うまでに年々生長し、黄色の絨毯のような景観が楽しめます。
- アサザは半日花のため鑑賞は午前中がお勧めです。
- 数万本のアサザの花が次々に開花しており、7月中旬頃まで見頃が継続する見込みです。

初夏の里山の花々と緑を体いっぱいを感じながら、ゆっくり散策してみるのはいかがでしょうか。

また、6月11日より19日まで越の里山館にて「カイコの展示」を開催いたします。

皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしくお願い申し上げます。

謹言

【配布先】長岡市政記者クラブ、新潟県政記者クラブ、他

【お問合せ先】

〒940-2082 新潟県長岡市宮本東方町字三ツ又1950-1

国営越後丘陵公園 越後公園管理センター 事業管理グループ 担当：松田・鈴木・山野・小林

電話 0258-47-8001 FAX 0258-47-8002

携帯 090-7847-5001 公園 HP <http://echigo-park.jp/>





アサザ鑑賞ポイント「花の水辺区」「山の水辺区」



山の水辺区のアサザ(平成 28 年 6 月 8 日撮影)

## ● アサザ



ミツガシワ科アサザ属

学名: *Nymphoides peltata*

アサザは、ユーラシア大陸の温帯地域に分布し、日本では本州及び九州に生育しています。沼や湖の岸部に丸い葉とウリ科に似たかわいい黄色い花を一面に咲かせます。岸辺に群生する特徴から砂を集め、そこで植物が繁茂し、水鳥や昆虫類のオアシスを作る事から霞ヶ浦などではアサザを用いた湖の再生事業も行われています。

当公園に於いては、保護、増殖活動をボランティア活動にて行っており、年々その生育範囲は増加し近年では水辺区一面で満開のアサザがご覧いただけるようになっています。

花は半日花で朝に開花し昼過ぎには閉じてしまいます。

● ご覧いただくのは午前中がおすすめです。

見頃は7月中旬頃まで続く見込みで、10月上旬頃まで開花をお楽しみいただけます。

<参考データ>

環境省のレッドデータブックでは準絶滅危惧 (NT)、**新潟県のレッドデータブックでは絶滅危惧Ⅱ類 (VU) にランクされている希少種**です。

## ● 「カイコの展示」が始まります

今年で2年目、カイコの展示を6月11～19日の期間中、越の里山館にて開催します。カイコは人間の手によって家畜化され、野生に帰る力を完全に失った昆虫です。越の里山館では旧山古志村(現長岡市)で行われていた当時の養蚕の道具や様子も展示しています。

また、越の里山館では毎週土、日にはカイコの繭を利用した「まゆクラフト」も開催しています。



カイコの第3齢幼虫(平成 28 年 6 月 8 日撮影)